

「第42回人権を考える町民大会」が開催されます

人権週間（12月4日～10日）に併せて「第42回人権を考える町民大会」を12月7日（土）午後1時から、老人福祉センターで開催します。今回の講師は、日本初のプロチェアスキーヤーの青木辰子さんです。

青木辰子さんは、18歳の時、中学高校と6年間続けた器械体操で右ひざを痛め、手術後片足麻痺となりました。20歳で障がい者スキーと出会い、障がい者アルペンスキーヤー（片足障がいの部）として国内外の大会に多数出場されましたが、32歳の時、スキーの練習中に左膝靭帯を損傷し、再建手術後下半身麻痺となり車椅子使用者となりました。しかし、スキーの楽しさが忘れられず、車椅子使用者のチェアスキーヤーとして、2年後に現役復帰し、国内外の試合に多数出場し、数々のメダルを獲得されました。順調に思われた選手生活でしたが、2014年にソチパラリンピック出場を目指し練習中、右肩を怪我してしまいます。

怪我からの復帰は壮絶であり、何とか復帰は果たせたものの代表落ちの結果に。結果を受け、スキーではすべてやり尽くし、思い残したことはひとつもなかったため引退を決意。次に、何を始めようかと考えていた時にたまたま浮かんだのがアーチェリーでした。生涯現役＝輝き続ける（笑顔の自分）、を生涯の夢とし、アーチェリーで東京2020を目指し、今も現役アスリートとして鍛錬の日々を続けられています。

12月7日に開催する人権を考える町民大会では、「夢をあきらめない ～東京2020～」と題し、青木辰子さんが選手生活で得た素晴らしい出会いや、苦境に立たされた時に支えられた言葉などについて、自らの体験談の中から講演していただきます。多くの皆さんにお聞きいただきたい内容です。ご来場をお待ちしています。

この講演を、「人権」について考える機会としていただき、お互いの人権を尊重し、つながり・支え合い・共に生きる温かなまちづくりを目指すきっかけとしていただければ幸いです。



◆ 青木辰子さんのパラリンピックの主な成績

- 1988年 インスブルク大会 回転7位(片足の部で参加)
- 1998年 長野大会 回転2位
- 2002年 ソルトレイク大会 大回転5位
- 2006年 トリノ大会 回転3位
- 2010年 バンクーバー大会 回転4位